

当館は生活に身近な工芸作品を通してアジアへの理解を深めるため「日本とアジアの工芸作品」をコレクションの1つの柱としています。工芸作品は、様々な生活の場面を潤して集う人々の心を繋ぎ、遠く時空を離れていてもその意匠には「平安」や「繁栄」などの願いが共通して認められ、また、商品や贈り物として流通して人・文化・経済・技術の交流を促進してきました。

広島県では「創り出す平和」の理念のもと、戦争のない平和な世界を構築するための積極策が講じられています。そうしたなか、文化による交流は相互理解や相互尊重を育む上で根源的な底流を成すものと言えます。文化により世界がつながっていること、文化に世界をつなぐ力があることは、人々の願いを身近に反映し、国境を越えて流通してきた工芸作品に如実に表れています。当館が誇る「日本とアジアの工芸作品」を通じて、ささやかながら文化による平和の維持・構築を考えるきっかけを提供することができれば幸いです。

つながる心 平和の礎

日本とアジアの 工芸作品

Commemoration of
the Exhibition
"War and Peace":
The Craftwork of
Japan and Asia
—Connected Hearts,
Foundation of Peace

1 国境を越え、人々を魅了した工芸作品

近世以前の日本の歴史においても、飛鳥・奈良時代におけるシルクロードを通じたアジア全域にわたる異文化の受容と、大航海時代における西欧文化との遭遇などの国際化現象があり、彼我の文化への関心・憧憬が生まれ、文化・人・経済・技術の交流が促進されました。ここではそうした事例を示す、飛鳥・奈良時代に渡来した西域起源のデザイン、大航海時代以降流通が活発化した日本の南蛮様式の漆芸品や柿右衛門様式の伊万里焼、インド更紗などを紹介します。

たとえば、清水南山による《波に龍文水瓶》の形は、飛鳥・奈良時代にシルクロードを経て法隆寺や正倉院に伝えられたササン朝ペルシャ起源の胡瓶（こへい）と呼ばれる壺に倣（なら）ったもの。作者は創作の基本を古典研究に置きました。古代ペルシャの伝統が時空を超えて息づいています。

また、聖書のための《草花蒔絵螺鈿書見台》は大航海時代にキリスト教布教のために来日したイエズス会士が日本の工人に制作させたもの。技法や様式に、日本・西洋に加え、イスラム的要素も感じられる本作からは、現地文化と融合を図りながら世界布教を進めたイエズス会士の国際感覚が伺えます。



《波に龍文水瓶》
昭和 12(1937) 年
清水南山
高 33.0 径 13.0
銀 / 鍍金 / 彫金



《草花蒔絵螺鈿書見台》桃山〜江戸時代初期
高 34.0 幅 32.3 木 / 漆 / 蒔絵 / 螺鈿

II 時空を超えてつながる心・デザイン

祖先崇拜、子孫繁栄、平安無事、健康と長寿など、遠く時空を離れていても人々の心や願いは共通しています。そして、生活に身近な工芸作品の装飾に、これらの心や願いを自然や動植物に象徴的に反映させて造形表現するという行為が共通して見られ、表象としてのモチーフにも類似性が見出される場合が多々あり、さらに深く心のつながりを実感することができます。ここでは、遠く離れた中央アジアの工芸作品に表された心や願いとその表現法、関連する風習が私たちといかに関係しているかを感じていただければ幸いです。

たとえば、ウズベキスタンの《スザニ》(刺繍布。室内装飾用の敷布・掛布)は花嫁道具として家族の女性が共同して刺繍しますが、その主たるモチーフは草花。花咲き繁茂する草花は乾燥地帯に住む中央アジアの人々にとってのみならず我々日本人にとっても生命力・新生・成長の象徴です。

また、中央アジアの遊牧民・トルクメン人は財産・お守り・装飾をかねて銀製のアクセサリーを身に付けました。この弓矢形の《オク・ヤイ》は男児用のお守りでシャツの背中に縫い付けられました。日本でも子どもの着物の背中に背守(せまもり)として刺繍やアップリケが施されました。いずれも魔が忍び寄りやすい背後を守る意味合いがあるのでしょうか。



《刺繍布(スザニ)》
1850年頃
シャフリシャブス
244.0×154.0
木綿/絹糸/刺繍



《男児用背飾り(オク・ヤイ)》
19世紀後半
トルクメニスタン
幅13.0
銀/金鍍金/
カーネリアン

III くつろぎの場、集う人々の心をつなぎ、いやす品々

ゲームや食事、茶会、遊興などは人々の出会いや親交を仲介し、活性化する場面。そこには楽しいひと時を過ごすためのエチケットが自然に生まれ、工芸作品はその場を演出します。特に、日本独特の文化「茶の湯」にはそれらのことが顕著に現れているように思います。主客が同座して相互に関わる中でその場を成り立たせる「一座建立」、一生に一度しか会えないと思って誠意を尽くす「一期一会」、身分の上下に関わらず茶席では誰もが平等であるという「一視同仁」などの茶会の理念は、現代の対人関係にも広く適用できるのではないのでしょうか。そして、その成立要件として「侘び」の心、つまり「慎み、奢らない」という心構えが基本に据えられているのです。ここでは人々が集う場を彩る工芸品を取り上げ、工芸作品が持つ、人々の心を和らげ、繋ぐ力に注目してみたいと思います。

三代金城一國齋の《高盛絵四季之花棗》は愛らしい四季折々の草花が茶席に持ち込まれたような暖かな雰囲気演出します。高盛絵は漆と砥の粉を混ぜたペーストでレリーフを形作り彩色する代々の金城一國齋により広島に伝えられる独特の漆芸技法。

陶芸家・鯉江良二の制作姿勢の1つが現地制作主義。韓国・スペイン・アメリカ・イギリスなど各地に赴き当地の土を用いて現地制作し、人々と交流しました。アルファベットでチャワン《chawan》と題されたこれらの茶盃はおそらくスペインの赤土で現地制作されたもの。



《高盛絵四季之花棗》
明治25(1892)年
三代金城一國齋
高6.3径5.8
漆/高盛絵



《chawan》
鯉江良二
14.3×14.2×高9.4
陶器

当館主任学芸員
宮本真希子

出品目録

国境を越え、人々を魅了した工芸作品 (シルクロードを超えて)

No.	作者/制作地	生没年	作品名	制作年	法量	材質等	展示
1	ウズベキスタン		女性用外衣(ハラト)	1900年頃	129.0×162.8	経:絹/緯:綿/経緋/裏に木綿	前期
2	ウズベキスタン		女性用外衣(ハラト)	19世紀末	125.8×165.8	経:絹/緯:綿/経緋	後期
3	ウズベキスタン		子ども用外衣	1900年頃	91.8×146.7	経:絹/緯:綿/経緋/裏に木綿	
4	イラン		青銅輪花胴瓶	8-9世紀	36.0×18.0×22.0	青銅/鑄造	
5	清水南山	1875-1948	波に龍文水瓶	昭和12(1937)年	高33.0 径13.0	銀/鍍金/彫金	
6	六角紫水	1867-1950	花を弄ぶ人 婦人用二重文具箱	昭和7(1932)年	22.2×14.5×高8.1	漆/平文/螺鈿/蒔絵/彫刻	

(大航海時代)

・伊万里柿右衛門様式

7	日本		重文 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	17世紀後半	口径24.4 高11.5	磁器/色絵	
8	日本		伊万里柿右衛門様式色絵馬	17世紀後半	高44.3	磁器/色絵	
9	日本		伊万里柿右衛門様式色絵馬	17世紀後半	高45.0	磁器/色絵	

・南蛮様式漆芸品

10	日本		草花蒔絵螺鈿書見台	桃山~江戸時代初期	高34.0 幅32.3	木/漆/蒔絵/螺鈿	
11	日本		鮫皮張草花鳥獸蒔絵螺鈿大筆筒	桃山~江戸時代初期	89.0×65.0×52.0	木/漆/鮫皮/蒔絵/螺鈿	

・インド更紗

12	インド		生命の樹文更紗	1770年頃	310.0×219.0	木綿/手描媒染防染	前期
13	インド		茜地花入格子文更紗	17-18世紀	266.5×110.4	木綿/手描媒染防染	前期
14	インド		茜地唐花文金更紗	20世紀初頭	244.5×98.3	木綿/木版媒染/印金	前期
15	インド		聖樹とゴビ文金更紗裂	18世紀	31.7×60.7	木綿/手描媒染防染/金箔置	前期
16	インド		菱形染分パッチワーク文更紗	17-18世紀	324.8×231.4	木綿/手描媒染防染	後期
17	インド		茜地花入花菱繋文更紗	17-18世紀	283.0×104.0	木綿/木版媒染	後期
18	インド		茜地花櫻繋文金更紗	20世紀初頭	220.7×112.1	木綿/木版媒染/印金	後期
19	インド		花唐草文更紗	18-19世紀	70.4×31.7	木綿/手描媒染防染	後期

時空を超えてつながる心・デザイン

(幸多かれ、平安と繁栄を祈る心は世界共通~祖先崇拝・子孫繁栄・息災長寿~)

20	ウズベキスタン		刺繍布(スザニ)	1850年頃	244.0×154.0	木綿/絹糸/刺繍	
21	ウズベキスタン		刺繍布(ジャイナマズ)	19世紀末	242.0×162.0	木綿/絹糸/刺繍	
22	ウズベキスタン		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	210.0×150.0	木綿/絹糸/刺繍	
23	トルクメニスタン		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈126.0	絹/絹刺繍/裏に木綿	前期
24	トルクメニスタン		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈124.0	絹/絹刺繍/裏に木綿	前期
25	トルクメニスタン		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈125.0	絹/絹刺繍/裏に木綿	後期
26	トルクメニスタン		女性用被衣(チルピ)	20世紀	総丈122.0	絹/絹刺繍/裏に木綿	後期
27	トルクメニスタン		花嫁用頭飾り	19世紀前半	幅33.0	銀/鍍金/カーネリアン	
28	トルクメニスタン		花嫁用頭飾り(エグメ)	18-19世紀	幅20.0	銀/鍍金/カーネリアン	前期
29	トルクメニスタン		花嫁用頭飾り(エグメ)	19世紀中期	幅23.0	銀/鍍金/カーネリアン/絹布/木版木綿	後期
30	トルクメニスタン		首胸飾り(ブカウ)	19世紀中期	高31.5 幅26.0	銀/鍍金/カーネリアン	
31	トルクメニスタン		護符入れ(トゥマル)	18世紀後半	幅27.0	銀/鍍金/カーネリアン	
32	トルクメニスタン		護符入れ(トゥマル)	19世紀初期	高13.5 幅11.5 鎖長62.5	銀/鍍金/ガラス	
33	トルクメニスタン		胸飾り(ダグダン)	19世紀後半	幅10.0	銀/鍍金/カーネリアン/ガラス	
34	トルクメニスタン		護符(ダグダン)	19世紀後半	高14.0 幅8.0	銀/鍍金/カーネリアン	
35	トルクメニスタン		背飾り(アシク)	19-20世紀	高22.0	銀/鍍金/カーネリアン	
36	トルクメニスタン		背飾り(アシク)	19世紀中期	高22.0	銀/鍍金/カーネリアン	
37	トルクメニスタン		背飾り(ゴシャ・アシク)	19世紀初期	高15.0	銀/鍍金/カーネリアン	
38	トルクメニスタン		背飾り(ゴシャ・アシク)	19世紀初期	高24.0 幅18.5	銀/鍍金/カーネリアン	
39	トルクメニスタン		留め飾り(チャプラズ)	19世紀前半	幅28.0	銀/鍍金/カーネリアン	
40	トルクメニスタン		留め飾り(チャプラズ)	19世紀中期	幅19.0	銀	
41	トルクメニスタン		耳飾り(グラク・ハルカ)	19世紀後期	径9.5	銀/鍍金/カーネリアン	

42	トルクメニスタン		耳飾り(グラク・ハルカ)	18-19世紀	径8.0	銀	
43	トルクメニスタン		指輪(キュケンリ・ユズユク)	19世紀中期	径2.4 長20	銀/金鍍金/カーネリアン	
44	トルクメニスタン		指輪(キュケンリ・ユズユク)	19世紀後期	径2.4 長15	銀/カーネリアン	
45	トルクメニスタン		子供用胸掛け	19世紀後半	長63.0 幅56.0	銀/貝/絹経緋布/綿布/絹刺繍	前期
46	トルクメニスタン		子供用胸掛け	19-20世紀	長73.0 幅34.0	銀/貝/綿布/絹刺繍/ベルベット	後期
47	トルクメニスタン		男児用背飾り(オク・ヤイ)	19世紀初期	幅13.0	銀	
48	トルクメニスタン		男児用背飾り(オク・ヤイ)	19世紀後半	幅13.0	銀/金鍍金/カーネリアン	
49	トルクメニスタン		男児用背飾り	19世紀	幅14.5	銀/金鍍金/カーネリアン/トルコ石	
50	トルクメニスタン		男児用下げ飾り	18世紀初期	長18.5	銀	
51	トルクメニスタン		男児用護符または女児用帽子飾り	19世紀前半	径15.5	銀/鍍金/カーネリアン/色ガラス	
52	トルクメニスタン		女児用護符入れ(ボズベント)	18世紀	幅7.5	銀	
53	トルクメニスタン		護符(ドガ)	19世紀初期	高14.0 幅12.0	銀/珊瑚/ガラスビーズ/絹刺繍	
54	トルクメニスタン		護符(ドガ)	19世紀	高10.0	銀/カーネリアン	
55	トルクメニスタン		男児用護符または女児用帽子飾り	19世紀後期	径11.5	銀	
56	トルクメニスタン		男児用背飾り(ゴンジュク)	19世紀前半	高16.0 幅8.0	銀/カーネリアン/珊瑚/ガラス	
57	トルクメニスタン		男児用背飾り(ゴンジュク)	19世紀後半	高21.0 幅16.0	銀	
58	トルクメニスタン		男児用背飾り(ゴンジュク)	19世紀中期	高11.0 幅6.0	銀	
59	トルクメニスタン		男児用下げ飾り	19-20世紀	長22.7	銀	
60	トルクメニスタン		女児用留め飾り(チャブラズ)	19世紀後半	高10.5 幅10.0	銀	
61	トルクメニスタン		女児用留め飾り(チャブラズ)	19世紀中期	高12.5 幅12.0	銀	

〈古今東西、デザインはつながる〉

62	アフガニスタン		胡銅銀象嵌盒子	14世紀後期	高21.0 径18.5	銅合金/鑄造/彫金	
63	六角紫水	1867-1950	末金鍍蓮葉硯筥	19-20世紀	24.3×21.1×高5.0	木/漆/蒔絵/練描き	
64	赤塚自得	1871-1936	金地蝶牡丹唐草蒔絵文庫	19-20世紀	29.0×23.0×高17.0	木/漆/蒔絵/螺鈿	

くつろぎの場、集う人々の心をつなぎ、いやす品々

65	二十代堆朱楊成	1829-1915	唐華紋彫漆基筥	19-20世紀	高12.3 胴径15.4 口径12.8	漆 堆漆 彫漆	
66	三代金城一国斎	1829-1915	高盛絵四季之花棗	明治25(1892)年	高6.3 径5.8	漆/高盛絵	
67	三代金城一国斎	1829-1915	高盛絵小型弁当重箱	明治44(1911)年	10.2×10.2×高5.8	漆/高盛絵	
68	三代金城一国斎	1829-1915	高盛絵蛤香合	明治40(1907)年	奥行7.6 幅9.6	貝/漆/高盛絵	
69	三代金城一国斎	1829-1915	ざくろ高盛絵菓子箱 道中茶箱の内	大正2(1913)年	5.4×6.7×高2.5	木/漆/高盛絵	
70	三代金城一国斎	1829-1915	水仙高盛絵茶巾立 道中茶箱の内	大正2(1913)年	高7.5 径2.5	竹/漆/高盛絵	
71	三代金城一国斎	1829-1915	白梅高盛絵茶釜立 道中茶箱の内	大正2(1913)年	高9.7 径3.2	木/漆/高盛絵	
72	三代金城一国斎	1829-1915	金銀双鶴高盛絵香合 道中茶箱の内	大正2(1913)年	径4.0	木/漆/高盛絵	
73	鯉江良二	1938-	電車の皿	20-21世紀	16.5×12.0×高3.9ほか	陶器/11点組	
74	鯉江良二	1938-	紅葉手鉢	20-21世紀	21.2×18.4×高12.0	陶器	
75	鯉江良二	1938-	紅葉手鉢	20-21世紀	17.1×16.6×高11.7	陶器	
76	鯉江良二	1938-	紅葉手鉢	20-21世紀	18.0×20.5×高10.1	陶器	
77	鯉江良二	1938-	韓国手茶盃	平成8(1996)年	15.9×15.9×高9.0	陶器	
78	鯉江良二	1938-	キセト茶盃	20-21世紀	11.5×11.5×高9.0	陶器	
79	鯉江良二	1938-	オリベ茶盃	20-21世紀	16.7×16.5×高7.6	陶器	
80	鯉江良二	1938-	しの茶盃	20-21世紀	11.0×11.8×高10.5	陶器	
81	鯉江良二	1938-	chawan	20-21世紀	15.0×17.0×高9.0	陶器	
82	鯉江良二	1938-	chawan	20-21世紀	14.3×14.2×高9.4	陶器	
83	鯉江良二	1938-	chawan	20-21世紀	13.7×12.6×高10.0	陶器	
84	鯉江良二	1938-	chawan	20-21世紀	17.5×15.1×高9.8	陶器	

おわりに～夏に贈る(逸)品

85	楠部彌弍	1897-1984	緑釉向日葵花瓶	昭和30(1955)年	高34.0 胴径39.2 口径18.5	陶器	
----	------	-----------	---------	-------------	---------------------	----	--

※ 展示期間に記載のない作品は通期展示します。(前期展示:7月4日～8月24日、後期展示:8月25日～9月27日)

※ 出品目録と展示作品の順番は異なる場合があります。

※ インド、ウズベキスタン、トルクメニスタンは制作地・制作民族について現在の国名により概ねの地理的位置を示したものです。正確な地域や民族は作品キャプションにより確認してください。